

5/30 に渡米してから、アメリカ・イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(University of Illinois at Urbana-Champaign : UIUC)での留学生活が始まり、4 カ月弱が経過した。英語語学学校(Intensive English Institute : IEI)のサマータームに通い、8/22 よりこちらでの主旨である正規の学生と同じ授業の履修が始まった。時の経過は長いようで、とても短く、大変有意義な時間を過ごしている。派遣留学報告書がKIT ホームページで公開されることもあり、今回は留学目的から、現在履修している科目まで、現在に至る過程を簡単に報告したい。

留学の経緯と目的

私が留学を決意したのは学部3年の冬学期の終わり、これから進路を決定しなければならないという時期である。それまでは留学という言葉は遠い存在であった。学部4年時の工学設計の研究内容決定により、笠耀先輩と出会った。彼は大学院時にUIUCへ交換留学を経験し、その内容を聞いて興奮した。以前から海外に注目し、国際交流プログラム(Intensive Program in Japanese for Science and Technology : IIST)に、日本人学生スタッフとして参加していたこともあり、留学がしてみたいと思っていた。英語力、金銭面や将来設計に対して抵抗はあったが、大学生活の今しかないと思い留学を決意した。

留学目的は、英語力の上達と国際的なエンジニアを目指すだけでなく、自分に自信をつける機会とすることである。日常生活における英語力と共に、工学系の英語力を習得する。また自分の研究内容や、夢考房フォーミュラカープロジェクトに参加していたことから、こちらでも同じような活動をするのである。

履修科目について

私は以下に示す授業を履修した。上記に示す留学目的に最適と思われる授業を履修している。最低12creditsの履修が必要とのことだったが、合計すると15.5creditsになった。こちらでは履修に関するアドバイザーがおりそちらで履修に関する色々な相談に乗ってくれる。登録の際、希望どおりの科目が履修できない可能性もあった。理由としては、履修時期がこちらの一般学生と比べてかなり遅いこと、科目によっては必須科目履修後などの規定がある。私は以下に示すME491は、担当教授に直接お願いに行き、closeされている(履修締め切り)所を何とか入れてもらった。

なお、来学期に履修したい科目があるため、今学期は、渡米前の当初予定していた科目と変更した。難しい授業を履修しすぎてしまったと感じている。

ESL 113 English Structure & Paragraph Development 3 hours

本授業は英語を母国語としない、主に留学生を中心に行われる授業で、オリエンテーション期間中に受けた英語のテストで、この授業を履修することとなった。主にライティングの授業で、レポートの作成が中心となる。文章の作成の上で必要な校正などを習う。隔週でJournalの提出がある。私のクラスは7人の生徒で行われ全員が日本人である。10月からtutorとの面談が始まる。

ME 300 Thermodynamics 3 hours

本授業は熱力学の授業である。後で示す科目を履修する上で、必要であるという記載があったため、今学期と一緒に履修した。一度本学で履修しているため、内容は理解しているつもりであったが、英語という言葉の壁が授業を難しくしている。授業はスクリーンに写された教科書の内容に先生が書き足していくという形で説明が行われる。しかし、書かれる文字が筆記体のため、読み辛く説明も大変早いため、苦労している授業の一つである。先日一回目の中間テストが行われた。

ME 340 Model and Analysis of Dynamic systems 3.5 hours

この授業は当初予定していなかった授業の一つである。来学期に履修を考えている車両運動性能 (ME 441 Automotive Vehicle Dynamics) を履修する上で必要となることと、自分の研究を行う上でも、必要であると判断し履修した。しかし、この授業は先に述べた授業同様に、履修についていく上で心配しているものの一つである。授業は先の授業同様スクリーンを用いて行われる。聴講以外に工学専門実験の様な実験が隔週で行われ、レポートを作成しなければならない。さらに MATLAB を用いた計算や解答作成を必要とするため、大変苦労している。

ME 400 Energy Conversion Systems 3 hours

本授業は先に示した ME 300 を必要とする授業で、サイクルやシステムを中心に行われる。主に senior(学部4年)と master(修士課程)の生徒が履修している。本授業も来学期に履修を考えている内燃機関 (ME 403 Internal Combustion Engines) を履修する上で必要となるため履修した。この授業も当初予定していなかった授業の一つである。授業は興味深く、ディスカッションの時間があることやクラス内で少人数のチームを作り小プロジェクト活動を行うなど、授業は活発である。

ENG 491 Interdisciplinary Design Project 3 hours

この授業は当初から予定していた授業の一つである。金沢工業大学夢考房フォーミュラプロジェクト同様に、フォーミュラスタイルのレーシングカーを作成するプロジェクト活動の科目である。Society of Automotive Engineers (SAE) が主催するエンジニア育成プログラムである。私が過去に研究した内容や、今の研究内容を生かせる team に配属が決まった。毎週末は車両の走行テストに出かけ、翌月曜日には担当教授を交えたチームミーティングがある。こちらの学生とコミュニケーションをとることに苦労しているが一番楽しい科目である。

履修科目全体を通じて

渡米前に計画していた履修科目から変更したことから、日本から必要と思われる資料が手元にない。そのため英語という壁以外に授業内容についていけない時がある。またソフトを用いたレポートやこちらの生徒とのプロジェクト活動等には大変苦労している。渡米前に想像していた以上に、英語力のなさを痛感している日々だ。しかし、オフィスアワーでの担当教員やプロジェクトメンバーは親切に接してくれることが、私の何よりの救いである。

履修授業すべてにおいて、共通して言えることは、生徒と教員との質問・意見交換・発表が活発であることだ。さらに授業中の私語がないことや授業態度がとてもよい。居眠りの学生がいないわけではないが、人に迷惑をかけるという行為がない。また履修している ME の全ての授業が、授業で用いたプロジェクター内容を、科目ウェブサイトダウンロードが可能のため、授業内容の復習には大変役立っている。さらにウェブ上ではクラスメートとのコミュニケーションや意見交換が可能である。このように授業を履修する上で大変良い環境であると感じた。

今回は履修科目の説明が中心となり、あまりこちらの様子が雰囲気伝えることができなかった。次回の報告書では、アメリカ生活を含めた私の活動を報告しようと考えている。

最後に、留学という貴重な機会を与えてくださった本学の多くの方々を始め、両親にこの場を借りて心からお礼を述べさせていただきたい。これまでの人生の中で、大げさかもしれないが、本当に貴重で素晴らしい体験をしている。自分自身や自国など、客観視することで、新たな発見、自分自身のもろさなどこれまで以上に多くを知ることができている。